



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月1日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4042 URL <https://www.tosoh.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 寿宣  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経営管理室長(氏名) 米澤 啓 (TEL) 03-5427-5123  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	192,805	△5.7	16,112	△34.8	15,398	△45.2	9,110	△52.5
2019年3月期第1四半期	204,381	7.3	24,716	15.5	28,120	18.9	19,181	16.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 8,891百万円(△43.0%) 2019年3月期第1四半期 15,608百万円(△4.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	28.05	28.01
2019年3月期第1四半期	59.08	59.02

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	874,090	578,938	61.8
2019年3月期	878,194	579,501	61.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 540,026百万円 2019年3月期 540,836百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	28.00	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	420,000	△1.1	42,000	△25.0	46,000	△24.3	31,000	△25.6	95.46
通期	860,000	△0.2	95,000	△10.2	100,000	△11.5	67,000	△14.2	206.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当する変更を行っております。詳細は、添付資料の8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	325,080,956株	2019年3月期	325,080,956株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	346,153株	2019年3月期	345,105株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	324,735,369株	2019年3月期1Q	324,685,210株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

連結業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

2019年8月1日(木)に、四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
3. 補足情報	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)のわが国経済は、国内需要に底堅さがみられる一方、米中の貿易摩擦の激化や中国経済の減速懸念を背景に輸出が低迷したことから全体として停滞感の強い状況が続いており、その先行きについても依然見通しづらい状況となっております。

このような情勢下、当社グループの連結業績は、売上高については、ナフサ等の原燃料価格の下落に伴う石油化学製品の価格下落や海外製品市況の下落により、1,928億5百万円と前年同期に比べ115億75百万円(5.7%)の減収となりました。営業利益については、販売価格の下落が原燃料安の影響を上回ったことで交易条件が悪化し、161億12百万円と前年同期に比べ86億4百万円(34.8%)の減益となりました。経常利益については、円高進行により為替差損に転じたことにより、153億98百万円と前年同期に比べ127億22百万円(45.2%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、91億10百万円と前年同期に比べ100億71百万円(52.5%)の減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### 石 油 化 学 事 業

エチレン、プロピレン等のオレフィン製品は、非定修年による生産量の増加に伴い出荷が増加しましたが、ナフサ価格等の下落を反映して製品価格は下落いたしました。

ポリエチレン樹脂は、輸出が増加しましたが、製品価格はナフサ価格の下落を反映して下落いたしました。クロロブレンゴムは、輸出を中心に出荷が減少しましたが、海外市況の上昇により製品価格は上昇いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ9億73百万円(2.3%)減少し422億15百万円となり、営業利益は前年同期に比べ1億47百万円(5.0%)減少し28億21百万円となりました。

#### ク ロ ル ・ ア ル カ リ 事 業

苛性ソーダは、輸出を中心に出荷が減少いたしました。また、海外市況の下落により製品価格は下落いたしました。塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、生産量減少に伴い出荷が減少いたしました。

セメントは、国内輸出とも出荷が堅調に推移いたしました。

ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)は、輸出価格が海外市況を反映して下落いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ118億12百万円(14.1%)減少し721億95百万円となり、営業利益は前年同期に比べ80億50百万円(69.7%)減少し34億97百万円となりました。

#### 機 能 商 品 事 業

エチレンアミンは、需要停滞により国内外で出荷が減少いたしました。

計測関連商品は、欧州向けを中心に液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が増加いたしました。診断関連商品は、アジア向けで体外診断用医薬品の出荷が増加いたしました。

ハイシリカゼオライトは、石化触媒用途で輸出が減少いたしました。ジルコニアは、装飾品用途での出荷が減少いたしました。石英ガラスは半導体製造装置向けの出荷が減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ16億73百万円(3.5%)減少し466億33百万円となり、営業利益は前年同期に比べ23億79百万円(25.6%)減少し69億5百万円となりました。

## エンジニアリング事業

水処理事業は、電子産業を中心に国内外の大型プロジェクトの工事が順調に進捗したことなどから、売上高が増加いたしました。

建設子会社の売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ29億8百万円（16.1%）増加し209億88百万円となり、営業利益は前年同期に比べ18億89百万円（448.3%）増加し23億10百万円となりました。

## その他事業

商社等その他事業会社の売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ25百万円（0.2%）減少し107億72百万円となりましたが、営業利益は前年同期に比べ83百万円（17.0%）増加し5億77百万円となりました。

## （2）財政状態に関する説明

総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前期末に比べ41億4百万円減少し8,740億90百万円となりました。

負債は、未払法人税等の減少等により、前期末に比べ35億40百万円減少し2,951億51百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少等により、前期末に比べ5億63百万円減少し5,789億38百万円となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期ともに、2019年5月9日に発表した2020年3月期の予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	93,974	93,479
受取手形及び売掛金	227,274	214,189
商品及び製品	97,257	96,433
仕掛品	9,198	11,538
原材料及び貯蔵品	44,106	45,076
その他	29,610	28,553
貸倒引当金	△661	△661
流動資産合計	500,759	488,607
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	85,533	89,553
土地	72,102	72,130
その他（純額）	118,071	123,101
有形固定資産合計	275,708	284,785
無形固定資産		
	4,646	4,565
投資その他の資産		
投資有価証券	57,369	56,416
退職給付に係る資産	22,145	22,218
その他	18,144	18,071
貸倒引当金	△579	△576
投資その他の資産合計	97,079	96,130
固定資産合計	377,434	385,482
資産合計	878,194	874,090

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,723	99,301
短期借入金	72,146	74,138
未払法人税等	15,620	5,544
引当金	10,656	8,039
その他	38,106	52,052
流動負債合計	242,253	239,075
固定負債		
長期借入金	28,925	29,166
引当金	2,638	1,173
退職給付に係る負債	20,391	20,681
その他	4,484	5,054
固定負債合計	56,439	56,076
負債合計	298,692	295,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	45,041	45,060
利益剰余金	430,733	430,750
自己株式	△327	△329
株主資本合計	530,620	530,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,853	11,280
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△4,276	△4,322
退職給付に係る調整累計額	2,639	2,413
その他の包括利益累計額合計	10,216	9,371
新株予約権	297	297
非支配株主持分	38,367	38,614
純資産合計	579,501	578,938
負債純資産合計	878,194	874,090

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	204,381	192,805
売上原価	151,313	147,211
売上総利益	53,067	45,593
販売費及び一般管理費	28,350	29,481
営業利益	24,716	16,112
営業外収益		
受取利息	62	89
受取配当金	1,311	789
為替差益	1,743	-
持分法による投資利益	325	370
その他	672	824
営業外収益合計	4,115	2,074
営業外費用		
支払利息	297	275
為替差損	-	2,309
その他	413	203
営業外費用合計	711	2,788
経常利益	28,120	15,398
特別利益		
固定資産売却益	320	5
投資有価証券売却益	0	101
特別利益合計	320	106
特別損失		
固定資産売却損	10	3
固定資産除却損	712	650
投資有価証券評価損	2	-
特別損失合計	725	653
税金等調整前四半期純利益	27,716	14,851
法人税等	8,430	5,124
四半期純利益	19,285	9,726
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	616
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,181	9,110



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	19,285	9,726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△492	△559
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	△3,107	28
退職給付に係る調整額	46	△213
持分法適用会社に対する持分相当額	△122	△90
その他の包括利益合計	△3,677	△834
四半期包括利益	15,608	8,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,777	8,264
非支配株主に係る四半期包括利益	△169	626

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

従来、当社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法については、主として定率法（ただし、建物並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法）を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

この変更は、中期経営計画（2019-2021年度）の策定を契機に減価償却方法を検討した結果、今後生産設備が長期にわたり安定的に稼働することが見込まれ、投資効果が平均的に生ずると見込まれることから、定額法がより合理的と判断したことによるものであります。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第1四半期連結累計期間の営業利益は617百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は621百万円それぞれ増加しております。

## (セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	43,189	84,007	48,306	18,079	10,797	204,381	—	204,381
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,922	6,753	3,082	3,883	12,933	47,575	△47,575	—
計	64,111	90,761	51,389	21,963	23,731	251,956	△47,575	204,381
セグメント利益	2,969	11,548	9,284	421	493	24,716	—	24,716

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	42,215	72,195	46,633	20,988	10,772	192,805	—	192,805
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,628	7,415	2,728	5,352	14,076	47,201	△47,201	—
計	59,843	79,611	49,362	26,340	24,848	240,007	△47,201	192,805
セグメント利益	2,821	3,497	6,905	2,310	577	16,112	—	16,112

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)に記載のとおり、従来、当社は、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法については、主として定率法(ただし、建物並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法)を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益は「石油化学」については133百万円、「クロル・アルカリ」については342百万円、「機能商品」については141百万円それぞれ増加しております。

## 3. 補足情報

## 2019年度第1四半期連結決算概要

2019年8月1日  
東ソー株式会社

## (1) 業績

(単位:億円)

	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増 減	2018年度	2019年度(予想)
売 上 高	2,044	1,928	△ 116	8,615	8,600
営 業 利 益	247	161	△ 86	1,057	950
経 常 利 益	281	154	△ 127	1,130	1,000
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	192	91	△ 101	781	670
1株当たり四半期(当期)純利益	59円08銭	28円05銭	△ 31円02銭	240円62銭	206円32銭

## (2) 指標

	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増 減	2018年度	2019年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	109.1	109.9	0.8	110.9	110.0
為替[TTM期中平均](円/EUR)	130.0	123.5	△ 6.5	128.4	125.0
国産ナフサ価格(円/KL)	48,700	46,000	△ 2,700	49,400	46,000

## (3) 事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	432	422	△ 10	27	△ 37	-	-
	営業利益	30	28	△ 1	△ 1	-	2	△ 2
クロル・アルカリ	売上高	840	722	△ 118	△ 29	△ 89	-	-
	営業利益	115	35	△ 81	△ 10	-	△ 39	△ 31
機能商品	売上高	483	466	△ 17	△ 14	△ 2	-	-
	営業利益	93	69	△ 24	△ 13	-	△ 1	△ 10
エンジニアリング	売上高	181	210	29	31	△ 2	-	-
	営業利益	4	23	19	19	-	0	0
その他	売上高	108	108	0	△ 1	1	-	-
	営業利益	5	6	1	2	-	0	△ 1
合 計	売上高	2,044	1,928	△ 116	14	△ 129	-	-
	営業利益	247	161	△ 86	△ 3	-	△ 38	△ 44

(注)億円未満は四捨五入